

徳島県立総合看護学校 第二看護学科 授業要項

基礎分野 ・ 専門基礎分野 ・ 専門分野 ・ 統合分野

科目名	看護学概論	学年	①年 ・ 2年
担当者名	斉藤 ゆかり	時間数	30 時間
クラス	A 組 ・ B 組	曜日・講時	曜日 講時
授業の目的	看護の基礎となる主要概念を理解し、各看護学に共通する看護行為の基礎となる知識、技術、態度を学び、看護専門職としてのアイデンティティを形成していく基礎的能力を養う。看護とは何かを考えることで、専門基礎分野での各領域への導入となり、個々の看護観を深めることができる。		
授業計画	1回目 看護とはなにか <ナイチンゲールと看護> 2回目 看護の主要概念(1) 3回目 看護の主要概念(2) 4回目 実践に活かす看護理論(1) 5回目 実践に活かす看護理論(2) GW 6回目 実践に活かす看護理論(3) GW 7回目 実践に活かす看護理論(4) GW(発表) 8回目 看護の役割と機能 看護の対象の理解 9回目 健康状態と生活 10回目 職業としての看護 11回目 看護職者の継続教育とキャリア開発 12回目 看護の提供のしくみ 13回目 国際看護 14回目 災害看護 15回目 終講テスト		
教科書 及び 参考書	<教科書> 茂野香おる他:系統看護学講座 専門分野 I 基礎看護学[1]看護学概論,第17版,医学書院,2024. 城ヶ端初子編:新訂版 実践に活かす看護理論19,株式会社サイオ出版,2024. <参考書> マージョリー・ゴードン著:ゴードン博士の看護診断アセスメント指針 よくわかる機能的健康パターン,照林社,2018. フロレンス・ナイチンゲール著,薄井担子・小玉香津子訳:看護覚え書き,現代社,2017. ヴァージニア・ヘンダーソン 著,湯楨ます・小玉香津子訳:看護の基本となるもの,日本看護協会出版会,2021.		
成績評価の方法	ペーパー試験(70%) 出席等授業態度、グループワーク、課題レポート(30%)		
受講者へのメッセージ	看護の基礎となる科目です。たくさんの理論家のテキストを読み、看護とは何なのか、自身が考える看護について理論に基づいて明確となるよう学びを深めて下さい。そのためにGWを多く取り入れています。活発な意見交換が行われることを期待します。 看護の「実践」と「理論」は表裏一体の関係です。理論について学んだことは今後の実習、看護研究にも役立ちます。		
履修上の注意	たくさんの内容を30時間に凝縮して講義、演習を行います。予習、復習は必ず行ってください。		

徳島県立総合看護学校 第二看護学科 授業要項

基礎分野 ・ 専門基礎分野 **専門分野** 統合分野

科目名	地域で暮らす人々Ⅰ	学年	1年 ・ 2年 ・ 3年
担当者名	高橋弥寸子	単位数	1 単位 30 時間
クラス	A 組 B 組	曜日・講時	単位 時間
クラス	A 組 B 組	曜日・講時	曜日 講時
授業の目的	暮らしを支える看護について理解することができる。また、地域で暮らす人々の暮らしと健康を支援するために多職種が協働することの重要性を理解することができる。		
授業計画	1回目 オリエンテーション 地域に暮らす人々とは 2回目 暮らしにおける環境の重要性 3回目 地域に暮らす人々とその家族の健康ニーズと看護の役割 4回目 各ライフステージにある人々の特徴 5回目 各ライフステージにある人々に応じた看護の役割 6回目 暮らしの中にあるリスクと看護の役割 7回目 災害対策における地域・在宅看護の役割 8回目 中間テスト 9回目 多職種連携演習のオリエンテーション 10回目 事例検討 11回目 発表資料の作成 12回目 交流会 13回目 事例検討した結果を発表 14回目 まとめ レポート 15回目 終講試験		
教科書及び参考書	系統学看護学講座 専門分野 地域・在宅看護の基盤,医学書院,第6版,2023.		
成績評価の方法	出席状況、グループワーク、レポート、終講試験の成績を合わせて、総合的に評価する。		
受講者へのメッセージ	グループワークを多数回行います。積極的に意見を述べていきましょう。		
履修上の注意	授業と関係のないおしゃべりにはお互いに注意しましょう		

徳島県立総合看護学校 第二看護学科 授業要項

基礎分野 ・

専門基礎分野 ・

専門分野 ・

統合分野

科目名	臨床看護技術Ⅰ	学年	1年 ・ 2年 ・ 3年
担当者名	寄鋤 恵子	単位数	1単位 30時間
クラス	A組 ・ B組	曜日・講時	
授業の目的	①各領域の特徴を理解し、対象者に関心を寄せ、意図的に観察ができるよう知識を深め、アセスメント能力を高める ②看護の対象である人々に対し身体的・精神的・社会的側面から総合的に理解し、科学的根拠に基づいた看護過程の展開ができる ③対象者に応じた日常生活援助や症状緩和のための援助が、卒業時の到達度に準じてできる ④臨地実習や演習などの経験をリフレクションし、臨床判断能力と看護実践能力を養うことができる		
授業計画	各領域(領域実習Ⅰ～Ⅲ)にて実施 <地域・在宅看護論> ・初回訪問の心得 ・在宅看護技術演習 ・テーマカンファレンス ・各施設の情報交換と振り返り <成人・老年看護学(急性期)> ・関連図について ・受け持ち対象者の関連図作成 ・周術期看護の演習 ・救急外来実習における施設間の学びの共有(GW) <老年看護学> ・受け持ち対象者の関連図作成、振り返り ・嚥下障害の介助演習 <小児看護学> ・テーマカンファレンス ・レクリエーション ・保育園実習の工夫した援助の発表 <母性看護学> ・演習:沐浴、バイタルサイン測定、授乳、保健指導 ・テーマカンファレンス <精神看護学> ・テーマカンファレンス ・作業所での学びの共有、スライド作成し発表		
教科書 及び 参考書	各領域の看護学に準ずる		
成績評価の 方法	各実習領域での課題や出席状況など、総合しての評価		
受講者への メッセージ	対象実習領域が個々で違うため、各自授業計画を把握して臨みましょう		
履修上の 注意	実習期間中となりますので、スーツで登校してください		

徳島県立総合看護学校 第二看護学科 授業要項

基礎分野 ・ 専門基礎分野 ・ 専門分野

科目名	急性期・終末期看護援助論	学年	1年 ・ 2年 ・ 3年
担当者名	中栄 未喜	単位数	1単位30時間
クラス	A組 ・ B組	曜日・講時	曜日 講時
授業の目的	急性期・終末期看護援助論では、生命の危機状態にある患者の病態把握と全身管理、苦痛の緩和や健康の回復について理解する。対象の健康増進および健康障害における健康上の諸問題を総合的に把握し、看護実践できる基礎的能力を養う。クリティカルケア看護、周術期看護、救急看護、終末期看護におけるアセスメントや患者・家族の特徴を学ぶ。急性期、終末期の呼吸器・循環器疾患の特徴を把握し、各期において必要とされる看護の視点を理解する。		
授業計画	1 周術期看護の概論 2 手術前、手術中患者の看護 3 手術後患者の看護 4 集中治療を受ける患者の看護 5 クリティカルな患者の病態の理解と看護 6 クリティカルケア看護に必要な看護技術 7 呼吸器疾患をもつ患者の経過と看護 8 呼吸器症状に対する看護や検査や治療を受ける患者の看護 9 循環器疾患をもつ患者の経過と看護 10 症状に対する看護 11 検査や治療を受ける患者の看護 12 救急看護の概念・救急看護の対象の理解 13 主要病態に対する救急処置と看護 14 緩和ケアの現状と展望・緩和ケアにおけるコミュニケーション・倫理的課題 15 終講試験		
教科書 及び 参考書	系統看護学講座, 別巻 臨床外科看護総論,第12版、医学書院2024. 系統看護学講座, 別巻 クリティカルケア看護 第2版 医学書院2024. 系統看護学講座 専門分野 成人看護学[2] 呼吸器 第16版 医学書院.2023. 系統看護学講座, 専門分野 成人看護学(3)循環器,第16版、医学書院2024. 系統看護学講座, 別巻 救急看護学,第7版、医学書院2024. 系統看護学講座, 別巻 緩和ケア,第3版、医学書院2024.		
成績評価の方法	1. 授業三分の二で成績評価の対象とする。 2. 出席評価・授業態度 3. 筆記試験 4. 課題提出物 5. グループワーク・個人ワークの取り組み度		
受講者へのメッセージ	成人・老年看護学実習において活用できるように学習をしてください。 課題の提出が、ありますので提出期限は必ず遵守してください。 演習を行うこともあります。		
履修上の注意	授業進行に伴い授業計画内容が変更になることもあります。授業中の全てが評価の対象となります。		

徳島県立総合看護学校 第二看護学科 授業要項

基礎分野 ・ 専門基礎分野 ・ 専門分野 ・ 統合分野

科目名	小児期にある人々	学年	1年 ・ 2年 ・ 3年
担当者名	麻植 晴美	単位数	1単位 30時間
クラス	A組 ・ B組	曜日・講時	
授業の目的	少子超高齢社会を迎え、子どもを取り巻く環境は急速に変化している。変化する社会現象の中から、子どもの健康についての概念・小児看護の機能と役割を理解する。 小児保健の動向・小児保健対策を学び、それらをふまえて子どもの成長発達や特徴を理解し、子どもとその家族に対する看護の特殊性(子どもの療養の場を含む)を理解する。		
授業計画	1回目 小児看護の対象、小児看護の目標と役割・変遷、子どもの権利 2回目 小児と家族の諸統計、子どもと家族を取り巻く社会 3回目 小児の成長・発達 4回目 小児の成長・発達、小児看護に用いる理論 5回目 乳児の養育・看護 6回目 幼児の養育・看護 7回目 学童の養育・看護 8回目 思春期・青年期の看護 9回目 小児のアセスメント 10回目 小児のアセスメント(演習) 11回目 病気・障害を持つ小児と家族の看護、入院中の子どもと家族の看護 12回目 障害のある子どもと家族の看護 13回目 在宅療養、災害時の子どもと家族の看護 14回目 子どもの虐待と看護 15回目 終講試験		
教科書 及び 参考書	系統看護学講座 専門Ⅱ 小児看護学(1) 小児看護学概論 小児臨床看護総論 医学書院 看護師国家試験WEB		
成績評価の方法	終講試験 小テスト 提出物 出席状況及び出席態度(演習、GWを含む)		
受講者へのメッセージ	身近な子どもを観察しながら小児について考えてみよう。		
履修上の注意	教科書をよく読んでおいてください。		

徳島県立総合看護学校 第二看護学科 授業要項

基礎分野 ・ 専門基礎分野 ・ 専門分野Ⅱ **統合分野**

科目名	災害看護	学年	1年 ・ 2年 ・ 3年
担当者名	鱈 貴志	単位数	1単位 30 時間
クラス	A組 ・ B組	曜日・講時	
授業の目的	災害の各段階の特徴と、災害時の健康課題や看護ニーズ、看護職の役割、国内外の災害看護活動を理解できる。 国際看護学では、国際活動での基盤となる考え方をふまえ、世界の人々の健康課題や国際看護活動について学び、国際協力を支える国際機関について理解できる。		
授業計画	1回目 災害看護学・国際看護学を学ぶにあたって、災害看護学の導入、災害看護学オリエンテーション 2回目 CSCATTT、災害看護と法律、災害サイクル、第3・5回GWのオリエンテーション 3回目 災害と心のケア、GW:被災者特性(要配慮者、要支援者)に応じた看護の資料作成 4回目 医療における災害対応の理解、急性期から復興期の災害対応の流れの理解(外部講師) 5回目 GW:被災者特性(要配慮者、要支援者)に応じた看護の発表、第7・8回演習のオリエンテーション 6回目 災害の医療マネジメントを知る、災害時の健康危機管理を知る(外部講師) 7回目 優先順位と外傷診療、TTT 机上シミュレーション 8回目 演習:EVAC+CHAIR、暖段箱ベッド、応急処置など 9回目 演習:スタート法、PAD 法、外傷の処置 10 回目 病院支援と受援もしくは避難所活動の机上シミュレーション① 11 回目 病院支援と受援もしくは避難所活動の机上シミュレーション② 12 回目 グループワーク:国際看護について発表資料作成 13 回目 グループワーク:国際看護について発表、まとめ 14 回目 災害に関するDVDを視聴後レポート 15 回目 終講試験		
教科書及び参考書	医学書院:系統別看護学講座 統合分野 看護の統合と実践③ 災害看護学・国際看護学 2024 看護師国家試験(災害看護学・国際看護学)過去問題集(各自で購入したもの)		
成績評価の方法	授業への出席と参加度、質疑応答、授業ごとのレジメの提出、課題などの提出 パソコンやタブレット・アプリなどの使いこなし グループワークへの参加度と取り組み及びグループ発表 第7・8回演習、第14回DVD視聴後のレポート 終講試験 (50%)		
受講者へのメッセージ	災害看護学・国際看護学を学ぶことの意義を理解し、医療従事者として知っておくべき知識・技術を習得し臨床現場で役立ててほしい。		
履修上の注意点	災害看護は専任教員と外部講師が担当します。		